（１３）　ね　　ぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 軟腐病 *Pectobacterium carotovorum* *Dickeya* sp.	1.排水を良好にし、過湿を避ける。 2.地下水位の高い圃場では高うね栽培を行う。 3.窒素過多にしない。 4.発病株は集めて圃場の外に持ち出し、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ヨネポン水和剤はべと病、さび病にも登録がある。	発病初期	31 M1 31･24 24･M1 24･M1	スターナ水和剤 ヨネポン水和剤 カセット水和剤 (混)カスミンボルドー (混)カッパーシン水和剤
2 苗立枯病 *Rizoctonia solani*	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－ －	ガスターード微粒剤 バスアミド微粒剤
3 べと病 *Peronospora destructor*	1.越年罹病株を３月中に抜き取る。 2.排水を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.３月下旬頃から予防的に散布する。 2.本病対象に防除を実施しているところでは、白色疫病の発生が少ない。 3.アミスター20フロアブル、メジャーフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 4.メジャーフロアブルは幼苗期では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさける。 5.本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、リドミルゴールドＭＺ、フォリオゴールド、プロポーズ顆粒水和剤で防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	苗床及び３月下旬から	11 11 21 40 P7 U17 M3 M3 M3 M5 M3･4 4･M5 7･M5 21･27 27･40 40･M5 40･M1 40･M3 40･M3 49･40 45･40	アミスター２０フロアブル メジャーフロアブル ランマンフロアブル レーバスフロアブル アリエッティ水和剤 ピシロックフロアブル ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル ダコニール１０００ (混)リドミルゴールドＭＺ (混)フォリオゴールド (混)ベジセイバー (混)ダイナモ顆粒水和剤 (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 (混)フェスティバルＣ水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤 (混)オロンディスウルトラＳＣ (混)ザンプロＤＭフロアブル
4 黒斑病 *Alternaria porri*	1.梅雨期と秋期、特に生育後期の肥切れのときに発病が多いので、適切な施肥をする。 2.排水を良好にする。 3.被害株は圃場外へ持ち出し、処分する。 4.他の病害と併発することがある。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アミスター20フロアブル、メジャーフロアブル、アミスターオプティフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 2.ヨネポン水和剤はべと病、さび病にも登録がある。 3.ロブラール水和剤はボトリチス葉枯症にも登録がある。 4.本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、アミスターオプティフロアブルで防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	発病初期	2 7 7 7 11 11 11 11 M1 M3 M3 M3 M5 11･7 11･M5 40･M3 40･M3	ロブラール水和剤 アフェットフロアブル パレード２０フロアブル カナメフロアブル アミスター２０フロアブル ストロビーフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 メジャーフロアブル ヨネポン水和剤 ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル ダコニール１０００ (混)シグナムＷＤＧ (混)アミスターオプティフロアブル (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤
5 さび病 *Puccinia allii*	1.草勢を良好に保ち、肥料不足や窒素過多を避ける。 2.罹病株は抜き取り、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ストロビー、メジャー、アミスターオプティは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 2.本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、アミスターオプティフロアブル、ベジセイバーで防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	発病初期	3 3 3 7 7 11 11 11 39	サプロール乳剤 ラリー水和剤 ラリー乳剤 セーフガード乳剤 アフェットフロアブル カナメフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ストロビーフロアブル メジャーフロアブル アミスター２０フロアブル ハチハチ乳剤

ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
		発病初期	M3	ジマンダイセン水和剤
			M3	ペンコゼブ水和剤
			M3	ペンコゼブフロアブル
			M5	ダコニール1000
			M3・3	(混)ブローダ水和剤
			11・7	(混)シグナムWDG
			7・M5	(混)ベジセイバー
			11・M5	(混)アミスターオプティフロアブル
6 疫病 *Phytophthora nicotianae*	1.前作で発生した圃場では連作を避け、ネギ類やウリ科以外の作物を栽培する。 2.低湿地やくぼ地では栽培を避けるか、高うね栽培とし、排水不良畑では排水を良好にする。 3.肥培管理を適正にする。	発病初期	P7	アリエッティ水和剤
7 萎凋病 *Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae*	1.土壌のpHを6.5以上に矯正する。 2.種子消毒を行う。 3.育苗中に過度の乾燥状態や高温を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－	クロールピクリン
			－	ガスター ド微粒剤
			－	バスアミド微粒剤
		定植直前	1	ベンレート水和剤
			1	トップジンM水和剤
		定植前	3	トリフミン水和剤
8 白絹病 *Sclerotium rolfsii*	1.連作を避ける。 2.被害茎葉は圃場外で処分する。 3.夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4.輪作をする場合は、ナス科以外にウリ科、アブラナ科、マメ科などを犯す（多犯性）ので、作物選定に注意する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－	ドロクロール
		発生初期	7	アフェットフロアブル
			7	カナメフロアブル
			19	ジオゼット水和剤
			U18	バリダシン液剤5
9 黒腐菌核病 *Sclerotium cepivorum*	1.連作を避ける。 2.被害茎葉は圃場外で処分する。 3.夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発生初期	7	カナメフロアブル
10 小菌核腐敗病 *Botrytis squamosa*	1.ネギ属植物の連作は避け、他の作物との輪作を行う。 2.排水不良地には栽培しない。 3.被害茎葉及び残さは圃場周辺に放置せず、適正に処分する。	定植前	1	ベンレート水和剤
		定植直前	1	トップジンM水和剤
		発病初期	1	ベンレート水和剤
			1	トップジンM水和剤
			7	アフェットフロアブル
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			12	セイビアーフロアブル20
			11・M5	(混)アミスターオプティフロアブル

ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
11 葉枯病 *Pleospora herbarum* *P.allii* *Stemphylium botryosum*	1.排水不良地には栽培しない。 2.被害茎葉及び残さは圃場周辺に放置せず、適正に処分する。 3.窒素肥料の過多や肥料切れに注意する。	発病初期	7 11	カナメフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤
12 ボトリチス葉枯症 *Botrytis cinerea* *B.squamosa*	1.排水不良地には栽培しない。 2.被害茎葉及び残さは圃場周辺に放置せず、適正に処分する。	発病初期	2	ロブラール水和剤
13 アブラムシ類 （萎縮病 ＳＹＳＶ）	1.無病苗を植付ける。 2.発病苗は見つけしだい取り除く。	発生初期	1B 3A 4C 9B 21A	マラソン乳剤 アグロスリン乳剤 トランスフォームフロアブル コルト顆粒水和剤 ハチハチ乳剤
14 ネギアザミウマ （スリップス） （ネギえそ条斑病 ＩＹＳＶ）	1.飛び込み軽減のため、防虫ネット（１mm目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.葉にわずかなカスリ状の食害痕が見られたら直ちに防除する。	播種時	4A 4A 4A 4A	アクタラ粒剤５ アルバリン粒剤 スタークル粒剤 ダントツ粒剤
		育苗期後半	28･4A	（混）ミネクトデュオ粒剤
		育苗期後半 ～定植当日	28 28･4A 28･4A	ベリマークＳＣ （混）ジュリボフロアブル （混）アベイル粒剤
		定植前日 ～定植時	4A 4A 4A 4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 アドマイヤーフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤
		定植時 （植付時）	4A 4A 4A 4A 4A 4A 28･4A	アドマイヤー１粒剤 ベストガード粒剤 アクタラ粒剤５ アルバリン粒剤 スタークル粒剤 ダントツ粒剤 （混）ミネクトデュオ粒剤
		発生初期	1B 1B 1B 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 5 5 6 9B 14 21A 23 28 29 30 34 34 UN 5･- 6･15 28･4A 21A･22B	スミチオン乳剤 マラソン乳剤 トクチオン乳剤 アディオン乳剤 アグロスリン乳剤 アドマイヤーフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 モスピランＳＬ液剤 ベストガード水溶剤 ベストガード粒剤 ダントツ水溶剤 ダントツ粒剤 アクタラ顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 トランスフォームフロアブル スピノエース顆粒水和剤 ディアナＳＣ アグリメック コルト顆粒水和剤 リーフガード顆粒水和剤 ハチハチ乳剤 モベントフロアブル ベネビアＯＤ ウララＤＦ グレーシア乳剤 ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル プレオフロアブル （混）ダブルシューターＳＥ (混)アファームエクセラ顆粒水和剤 （混）ミネクトデュオ粒剤 アクセルキングフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
15 ネギハモグリバエ	1.飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	8F	ガスターード微粒剤
			8F	バスアミド微粒剤
		播種時	4A	ダントツ粒剤
			4A	ベストガード粒剤
		育苗期後半	28･4A	（混）ミネクトデュオ粒剤
		育苗期後半 ～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
			28	ベリマークSC
			28	ヨーバルフロアブル
			28･4A	（混）アベイル粒剤
			28･4A	（混）ジュリボフロアブル
		定植前日 ～定植時	4A	アドマイヤーフロアブル
			4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
		定植時 （植付時）	4A	アクタラ粒剤5
			4A	ベストガード粒剤
			4A	ダントツ粒剤
			28･4A	（混）ミネクトデュオ粒剤
		発生初期	1B	マラソン乳剤
			3A	アグロスリン乳剤
			4A	ダントツ水溶剤
			4A	ダントツ粒剤
			4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	アルバリン粒剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
			4A	スタークル粒剤
			4A	ベストガード水溶剤
			4A	ベストガード粒剤
			5	ディアナSC
			6	アファーム乳剤
			6	アグリメック
			13	コテツフロアブル
			14	リーフガード顆粒水和剤
			15	カスケード乳剤
			28	ベネビアOD
			28	ヨーバルフロアブル
			30	グレーシア乳剤
			30	ブロフレアSC
			34	ファインセーブフロアブル
			34	アベンジャーフロアブル
			5･-	（混）ダブルシューターSE
			28･4A	（混）ミネクトデュオ粒剤
			6･15	(混)アファームエクセラ顆粒水和剤
16 ネダニ	1.適正な施肥を行う。 2.酸性土壌を矯正する。 3.圃場内の残さや雑草を取り除く。 4.湛水可能な圃場であれば1か月間以上湛水処理する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	8A	D－D
		定植前	1B	ラグビーMC粒剤
		定植時	3A	フォース粒剤
		生育期	1B	トクチオン乳剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
17 シロイチモジヨトウ	1.飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●発生初期 1.本虫対象にスピノエース、アファーム、マッチで防除を実施しているところでは、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマの発生が少ない。 2.本虫対象に防除を実施しているところでは、ハスモンヨトウの発生が少ない。	育苗期後半～定植当日	28	ベリマークSC
		発生初期	3A	アグロスリン乳剤
			3A	トレボン乳剤
			5	スピノエース顆粒水和剤
			5	ディアナSC
			6	アファーム乳剤
			6	アニキ乳剤
			11A	フローバックDF
			11A	エコマスターBT
			13	コテツフロアブル
			15	アタブロン乳剤
			15	ノーモルト乳剤
			15	マッチ乳剤
			15	カスケード乳剤
			18	ファルコンフロアブル
			18	ロムダンフロアブル
			21A	ハチハチ乳剤
			22A	トルネードエースDF
			22A	ファイントリムDF
			22B	アクセルフロアブル
			28	フェニックス顆粒水和剤
			28	ベネビアOD
			28	ヨーバルフロアブル
			30	グレーシア乳剤
			30	ブロフレアSC
			UN	プレオフロアブル
			ー･5	(混)ダブルシューターSE
			6･15	(混)アファームエクセラ顆粒水和剤
			21A･22B	(混)アクセルキングフロアブル
18 ネギコガ	1.ネギ類の周年出荷栽培を行っている地域では、各作型を計画的に栽培し、本種の生活環を断つ。	定植前日～定植時	4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
			28	ベリマークSC
		発生初期	1B	スミチオン乳剤
			3A	アディオン乳剤
			3A	アグロスリン乳剤
			5	ディアナSC
			21A	ハチハチ乳剤
			28	フェニックス顆粒水和剤
			28	ヨーバルフロアブル
			28	ベネビアOD
			28	ベリマークSC
			30	グレーシア乳剤
			30	ブロフレアSC
			21A･22B	(混)アクセルキングフロアブル
19 タネバエ	1.植え傷みを少なくする。 2.被害株を抜き取り処分する。	植付時	4A	ダントツ粒剤
		育苗期後半～定植当日	28	ベリマークSC
			28･4A	(混)ジュリボフロアブル
		定植前日～定植時	4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
20 クロバネキノコバエ類	1.被害株は抜き取り処分する。	発生初期	30	グレーシア乳剤